

ブラジル金融政策（2026年1月）

次回会合での利下げ開始を示唆

2026年1月29日

5会合連続で政策金利を据え置き、次回3月会合から慎重な利下げへ

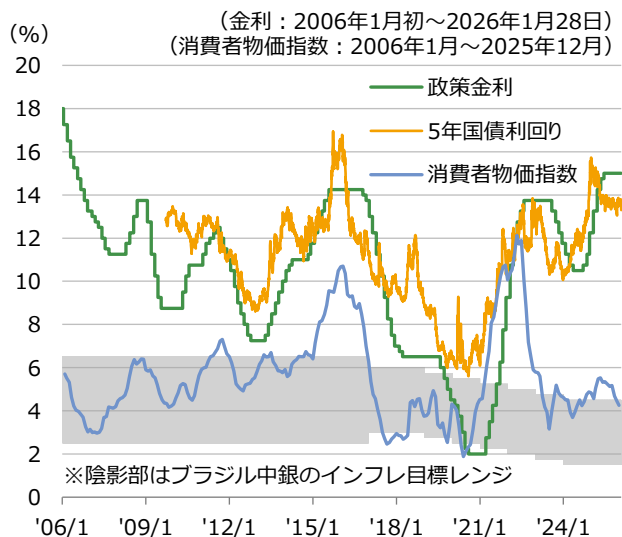
ブラジル中央銀行は1月27～28日（現地）に金融政策決定会合を開催し、市場予想通り政策金利を15.00%に据え置くことを決定しました。据え置きは5会合連続です。

インフレ率（消費者物価指数・前年同月比）は、昨年11月が+4.46%、12月が+4.26%と、インフレ目標レンジ（ $3\pm 1.5\%$ ）の上限を下回って推移しており、市場参加者およびブラジル中銀による当面のインフレ率予想も前回会合時点から低下しています。こうした状況下、ブラジル中銀は声明文で「次回会合において金融政策スタンスの柔軟化を開始する見通しである」と記し、利下げ開始を明確に示唆しました。他方、ブラジル中銀の見通しでは、金融政策の想定期間を通じてインフレ率が目標中心の3%を上回り続けることから、「金融政策は引き締めの水準を維持する」ことを強調し、利下げのペースと規模は慎重に判断する姿勢も示しています。

足元で日米当局による為替介入への警戒から円高・米ドル安が進行しましたが、同時に米ドル離れの思惑が強まる中でブラジル・レアルなど高金利通貨の米ドルに対する増価も目立ちます。利下げ開始への期待もあってブラジルの株式・債券市場は好調で、円換算ベースで見ても堅調に推移しています。利下げが株式・債券に追い風なのは当然ですが、引き締めの水準を維持しながらの慎重な利下げは通貨レアルの支援材料であり、ブラジルの金融資産は円換算ベースで見ても引き続き堅調に推移すると予想しています。

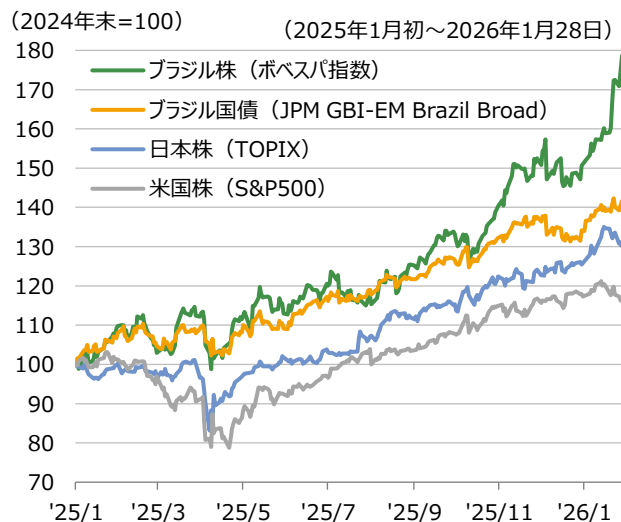
（執筆：調査部 岩手幸久）

ブラジルの金利とインフレ率



※消費者物価指数は前年同月比、5年国債利回りは2009年9月21日～
（出所）ブルームバーグ、ブラジル地理統計院、ブラジル中央銀行

各資産の推移



※全てトータルリターンの円換算ベース

（出所）ブルームバーグより大和アセット作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

この資料は情報提供を目的として作成したものであり、特定の商品の投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

金融商品取引法に基づきお客様にご留意いただきたい事項を以下に記載させていただきます。

むさし証券の概要

商 号 等 : むさし証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第105号

加入協会 : 日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

リスクについて

国内外の金融商品取引所に上場されている有価証券(上場有価証券等)の売買等に当たっては、株式相場、金利水準等の変動や、投資信託、投資証券、受益証券発行信託の受益証券等の裏付けとなっている株式、債券、投資信託、不動産、商品等(裏付け資産)の価格や評価額の変動に伴い、上場有価証券等の価格等が変動することによって損失が生じるおそれがあります。

◎ 上場有価証券等の発行者等の業務や財産の状況等に変化が生じた場合や、裏付け資産の発行者等の業務や財産の状況等に変化が生じた場合、上場有価証券等の価格が変動することによって損失が生じるおそれがあります。

◎ 新株予約権、取得請求権等が付された上場有価証券等については、これらの権利を行使できる期間に制限がありますのでご注意ください。

◎ 上場有価証券等が外国証券である場合、為替相場(円貨と外貨の交換比率)が変化することにより、為替相場が円高になる過程では外国証券を円貨換算した価値は下落し、逆に円安になる過程では外国証券を円貨換算した価値は上昇することになります。したがって、為替相場の状況によっては為替差損が生じるおそれがあります。

※ 裏付け資産が、投資信託、投資証券、預託証券、受益証券発行信託の受益証券等である場合には、その最終的な裏付け資産を含みます。

※ 新規公開株式、新規公開の投資証券及び非上場債券等についても、上記と同様のリスクがあります。

手数料等諸費用について

当社取り扱いの商品等にご投資いただく場合

各商品毎の所定の手数料をご負担いただく場合がありますが、商品毎に異なるため、ここでは表示することができません。

また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

投資信託につきましては、手数料の他、信託報酬等・その他の費用(監査費用、運営・管理費用等)等を御負担いただきますが、これらの費用等は、事前に計算できませんので表示しておりません。

当該商品等の契約締結前交付書面や目論見書またはお客さま向け資料等をよくお読みください。

【広告審査済】